

●放射能汚染対策急げ!!

市民のみなさまからの情報提供により、市内でもホットスポットと呼ばれる放射線量が比較的高い場所が報告されています。土壌を撤去し除染を行っていますが、今後も引き続き監視が必要なことから、放射線計の市民への貸し出しを提案し、検討するとの答弁を引き出

しました。

また汚泥の焼却灰等の廃棄物は海洋投棄することができず、一時的に浮島に保管されており、このままでは保管能力を上回る恐れもあります。国に対して明確な処分方法や基準値を示すよう求めています。



©NEW KOMETTO

●障がい者の移動支援を見直しへ!

バス乗車券について、今までは「市バスの特別乗車証、または、民営バスの年間1万円分の乗車券」が基本でしたが、本年10月から「市バス・民営バスのフリーパス」へと拡充します。重度障がい者のための福祉タクシー利用券については、

本年10月から新たに精神障害者1級の方も対象となり、明年4月からはタクシー券の単価が660円から500円へと下がるものの、枚数は年間72枚から84枚へと増え（人工透析患者は120枚から168枚へ）、複数枚使用も可能となります。

●女性の視点からの防災対策強化!

市の防災対策に女性の視点を積極的に取り入れるよう具体的に提案をしました。

「①市の防災会議委員における女性の割合を3割にする、②避難所運営会議や防災ネットワーク会議への看護師や保健師の加入促進、③女性の防災意識を高めるような

啓発をする」の3点です。

市は「専門知識を持った看護師などの役割は有効なので女性の視点を踏まえた避難所運営ができるよう努める」さらに「自主防災組織への加入促進をはじめ、様々な啓発活動を通じ、女性の防災意識の高揚に努める」と明言しました。



©NEW KOMETTO

レッサーパンダ 公開再開!



幸区の夢見が崎動物公園に、レッサーパンダの「アン」が展示開始されました。

一昨年11月、人気者であった「カツオ」と「ミンミン」の夫婦が続けて病死し不在となっていました。12月から埼玉県動物園から借り受けて、展示の再開となりました。

●不育症対策が前進! (へパリンに保険適用)

妊娠しても流産や死産を繰り返す「不育症」患者は、全国で約140万人。毎年約3万人が新たに発症していると推計（厚労省調査）されています。「不育症」は検査と治療を受けた人の85%が出産できる半面、保険が適用されない検査や

治療が多くあり、患者にとって大きな負担となっています。

この度、「不育症」治療のため「へパリン在宅自己注射」について、公明党の主張が実り保険適用が決まりました。

「議会改革」を推進! 議会運営検討協議会を設置!

昨年12月14日、議会運営委員会で、更なる議会改革を目指し「議会運営検討協議会」を設置することが決定。「議会基本条例」の制定など他都市をリードする取り組みを進めてきましたが、更なる「議会改革」を目指し、地方分権時代にふさわしい議会のあり方を協議していくことになりました。

出張所の取り扱い業務が 変わりました!

転出入届、印鑑登録等の届け出手続きは、出張所から区役所に移転。出張所では引き続き、住民票の写しや印鑑登録証明書などの発行に加え、新たに最新年度の市民税・県民税課税額（非課税・免除）証明書が発行できるようになりました。